

日本認知症予防学会誌の発刊にあたり



日本認知症予防学会理事
高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科准教授 児玉直樹

日本認知症予防学会誌第2巻第1号をようやく発刊することができました。担当理事として関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、会員の皆様には発刊が予定より遅れましたことを心からお詫び申し上げます。

さて、日本認知症予防学会は2011年4月に発足し、ようやく3年目を迎えます。この学会を立ち上げることになったきっかけは、認知症予防という社会の高いニーズ、そして認知症予防に対して早急に対策を立てる必要がありますが、医師や看護師のみで解決することは難しく多職種協働でこの問題を解決する必要があるという皆様に強い思いからです。しかし、予防という言葉がしばしば誤解を受けているのかもしれませんが。本会は認知症の発症予防という第1次予防だけを議論するのではなく、認知症の早期発見と治療である第2次予防、さらには認知症の進行を防止する第3次予防までを含めて考えています。そのため、多職種協働で認知症の予防を研究・実践するというのが本会の大きな目標になっています。

本会では認知症予防という専門性を認証するため、「認知症予防専門士」および「認知症専門臨床検査技師」の認定事業を行っております。認知症予防の専門家を育成することで、全国各地で実践されている認知症予防の取り組みを強力にバックアップするとともに、認知症予防を担う次世代の人材を育成していきたいと考えています。認定事業のさらなる普及のため、2013年9月を目標に認知症予防専門士テキストブックを発刊する予定です。このテキストブックは認知症予防専門士を目指す皆様のみならず、一般市民の方々、認知症予防を実践している実務者の方々にも非常に有用な内容が記載されております。

また、本会は年1回学術集会を開催しております。今年で3回目を迎える学術集会ですが、2013年9月28日より3日間、新潟県新潟市朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて開催されます。過去の学術集会では、特別講演、教育講演、シンポジウム、100演題以上の一般演題発表などを企画し、500名以上の方が参加し、活発な議論を交わしております。そして、学術集会の最終日には一般市民を対象にした市民公開講座を行っており、約400名の市民が参加しております。毎年、認知症および認知症予防をめぐる最新情報が満載の学術集会ですので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

最後に、社会のニーズにしっかりと応え、科学的根拠のあるデータと現場での実践データを公表するため、日本認知症予防学会誌を年2回発行しております。会員の皆様のみならず認知症予防を実践されている実務者の皆様、さらには認知症介護を実践されている職員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。